

アイジーサイディング 特殊部位参考納まり集

S造・よこ張り 編

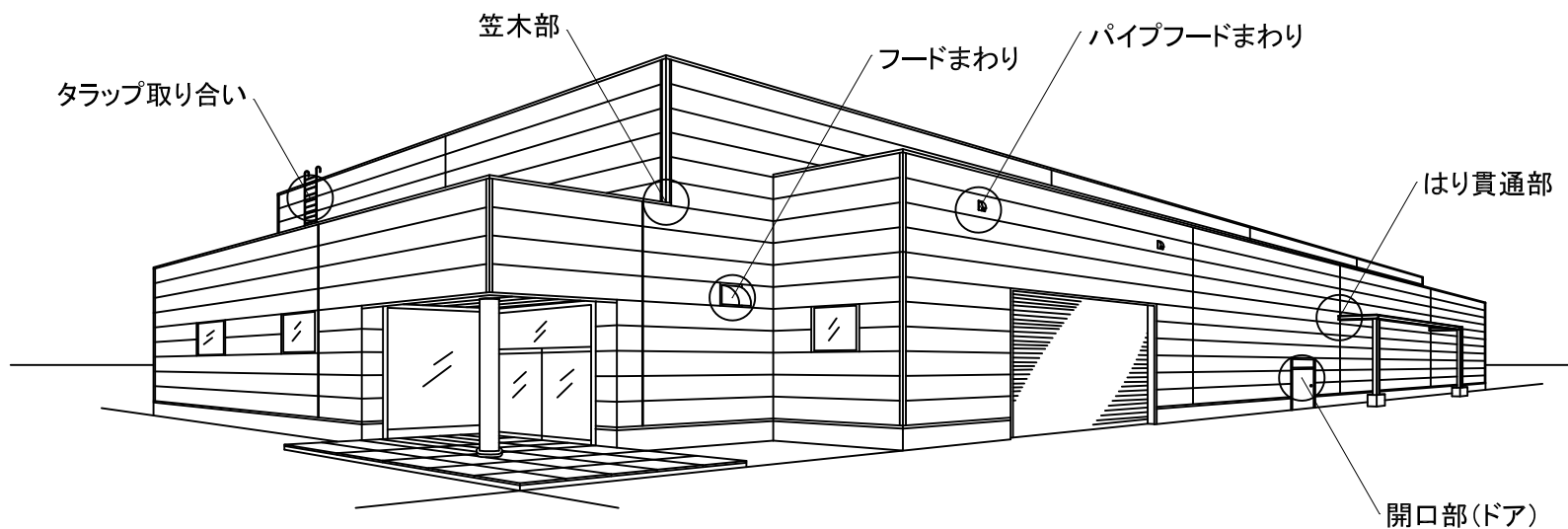
2019.10 版

■建物部位

部位

笠木部
開口部（ドア）
フードまわり
パイプフードまわり
タラップ取り合い
はり貫通部

その他の部位
E X P - J 部
壁つなぎの例

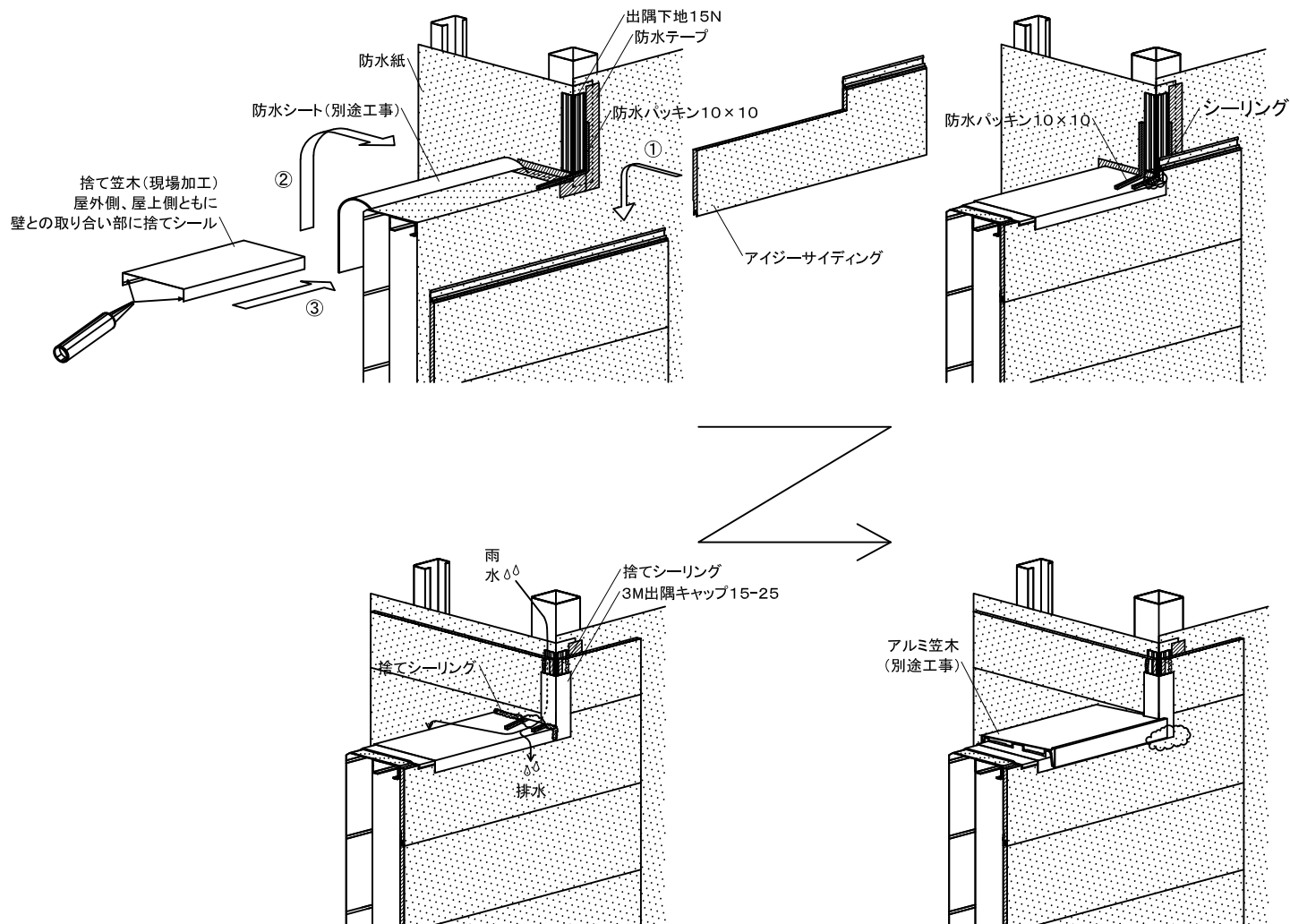


建物部位

アイジー工業株式会社

■アルミ笠木と出隅取り合い（屋外側）

笠木と出隅の施工手順




品質管理のポイント

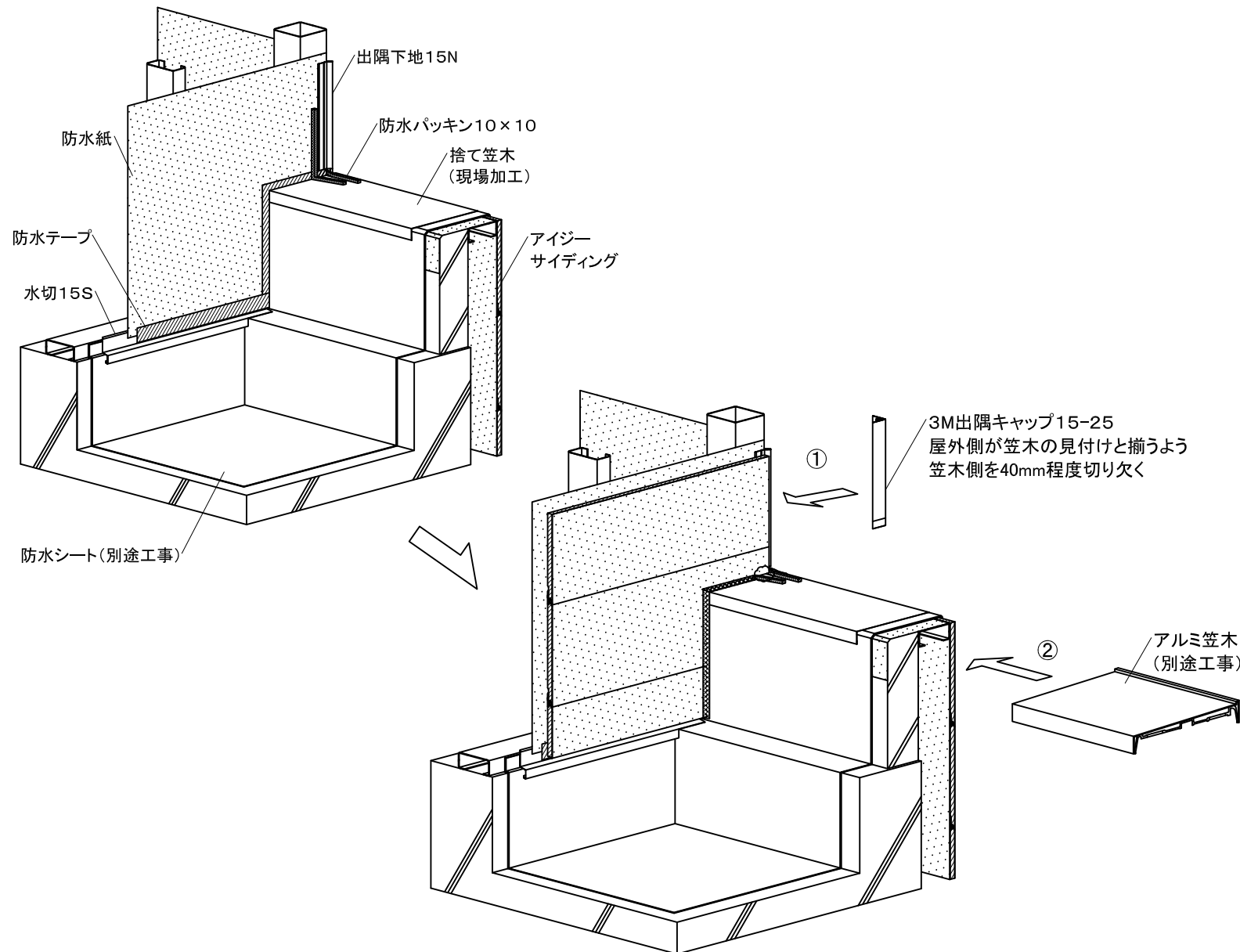
1. 左上図
出隅下地15Nの屋外側端部に防水パッキン10×10を貼り付け、排水用に勾配をつけて笠木部分に回しておく。(笠木部分の防水パッキンは捨て笠木施工後に貼り付ける)
- ①～③の順に、サイディング本体の施工、防水シートの立ち上げ、捨て笠木の施工を行う。
2. 右上図
前述の防水パッキン10×10を捨て笠木の上に貼り付ける。
雲マーク部分の防水パッキンと出隅下地15N及びサイディング本体の隙間にシーリングを施す。
防水パッキンをもう一本用意し、出隅下地15Nの笠木側端部から捨て笠木の上にかけて貼り付ける。
3. 左下図
屋上側のサイディング本体施工後に3M出隅キャップ15-25を施工する。サイディング本体と3M出隅キャップ15-25、捨て笠木との取り合い部は捨てシーリングを施す。
その際、雲マーク部分(パッキン材間)は排水経路となるためシーリングしない。
笠木は3M出隅キャップ15-25との取り合いを考慮して切り欠いておく。
4. 右下図
仕上げ。
雲マーク部分(3M出隅キャップ15-25下端)をシーリングする場合は排水パイプを施工する。

アルミ笠木と出隅取り合い

アイジー工業株式会社

■アルミ笠木と出隅取り合い（屋上側）

 笠木と出隅の施工手順



品質管理のポイント

施工手順は屋外側を参照

1. 上図
出隅部に浸入した水が捨て笠木・水切15Sから確実に排水されるように、防水パッキン10×10を施工する。
・捨て笠木とサイディング本体の取り合いは、シーリングを施し水の浸入を防ぐ。
・出隅下地15Nからの排水を誘導するために、出隅下地15Nの脇から捨て笠木にかけて防水パッキンを施工する。
・水切15Sから確実に排水させるため、防水紙は水切15Sに被せる。
2. 下図
サイディング本体と入隅で接する壁面・捨て笠木との取り合いはシーリングする。ただし、雲マーク部分は排水経路となる為、シーリングしない。
3M出隅キャップ15-25は、屋外側にくる面が笠木の見付と揃うよう、笠木側にくる面を40mm程度切り欠いて施工する。

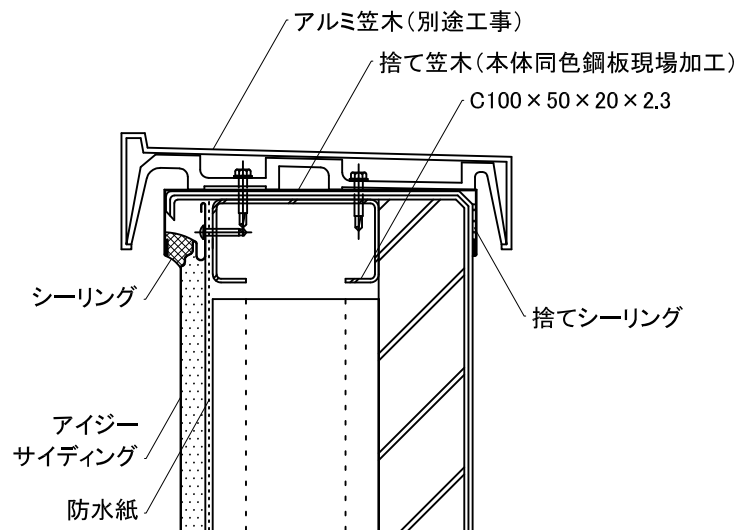
アルミ笠木と出隅取り合い

アイジー工業株式会社

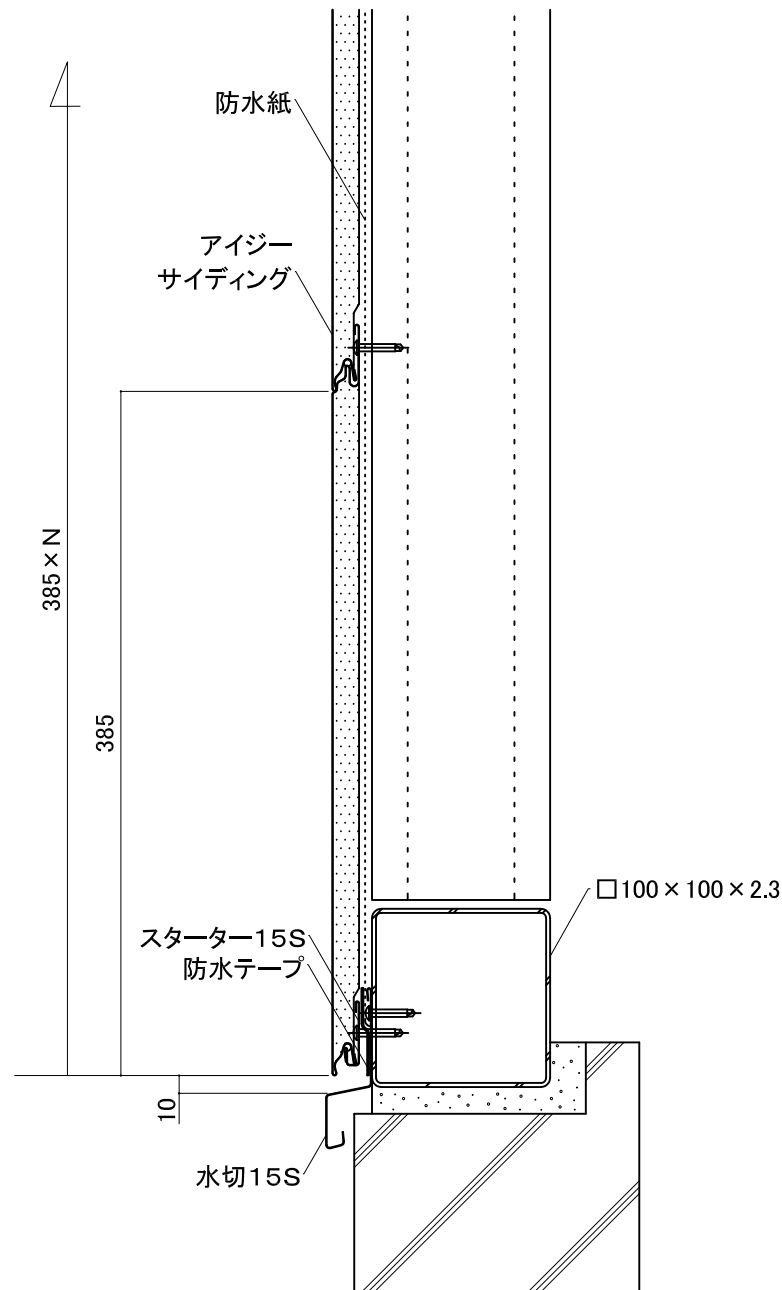
■ 笠木部・屋上水切部

品質管理のポイント

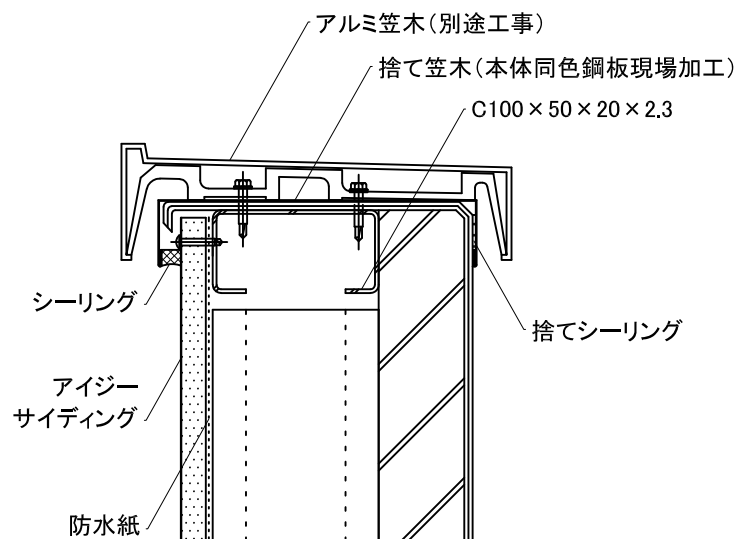
① 笠木部納まり 一断面図



③ 屋上腰水切部納まり 一断面図



② 笠木部納まり 一断面図
(本体オス部を切り欠く場合)




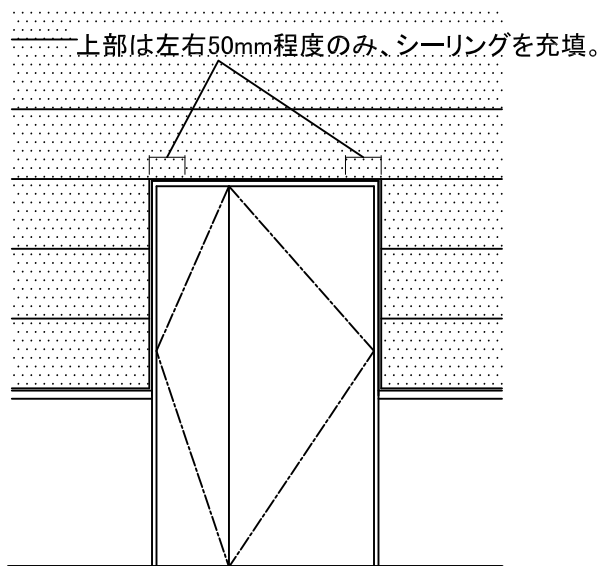
笠木部
屋上腰水切部
アイジー工業株式会社


1. 捨て笠木で確実に防水できるよう、屋外・屋上側とも壁との取り合いにシーリング、捨てシーリングを施す。

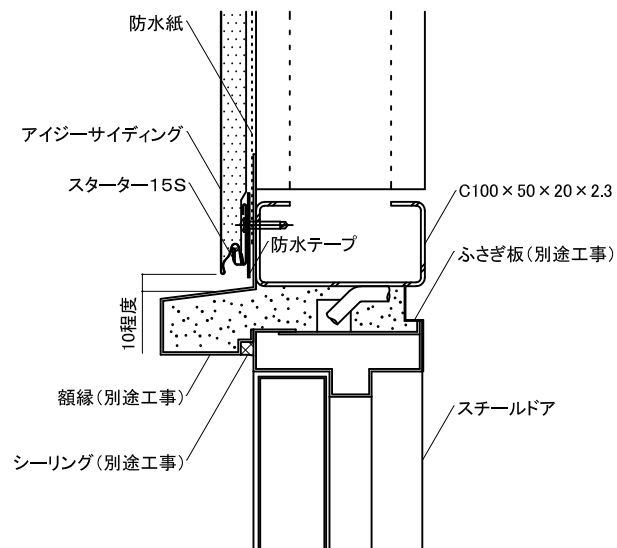
■開口部（ドア）

品質管理のポイント

 ドア正面

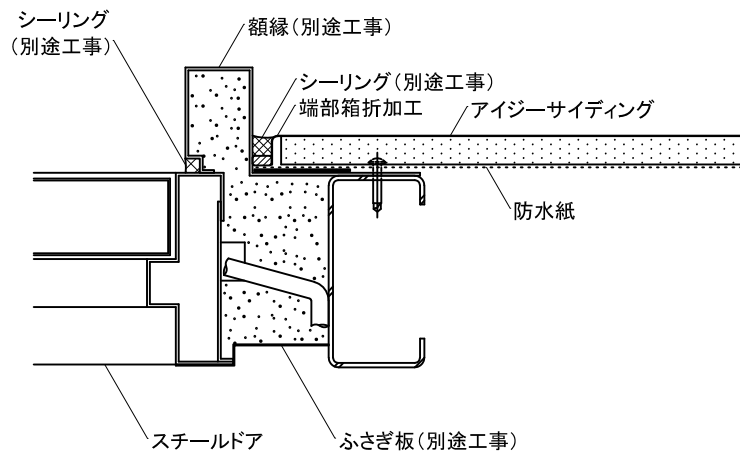



 スチールドア納まり 一断面図

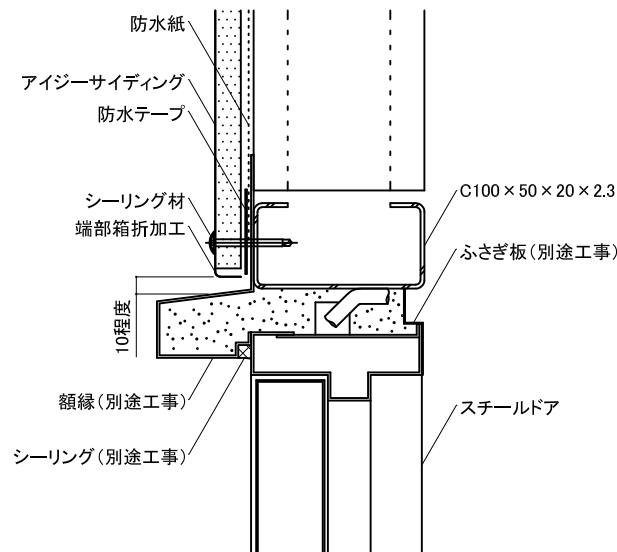


1. 額縁を半外付けサッシに見立てて、同様に納める。

 スチールドア納まり 一平面図



 スチールドア納まり 一断面図
(本体メス部を切り欠く場合)

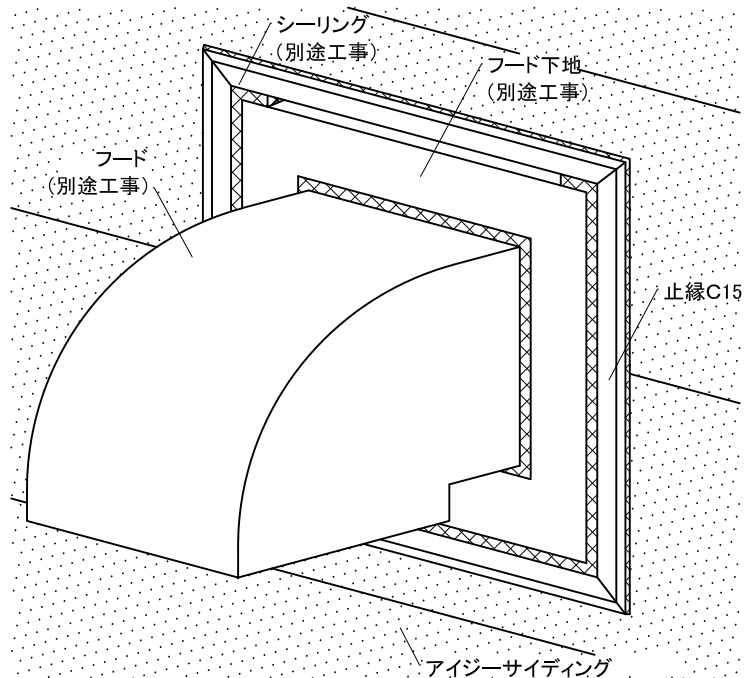


開口部（ドア）

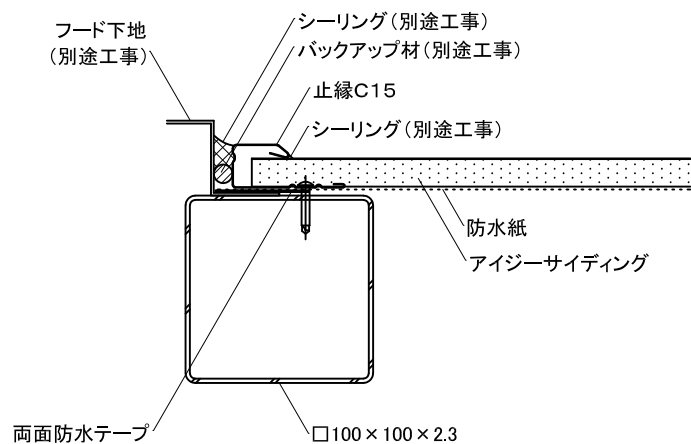
アイジー工業株式会社

■フードまわり 1

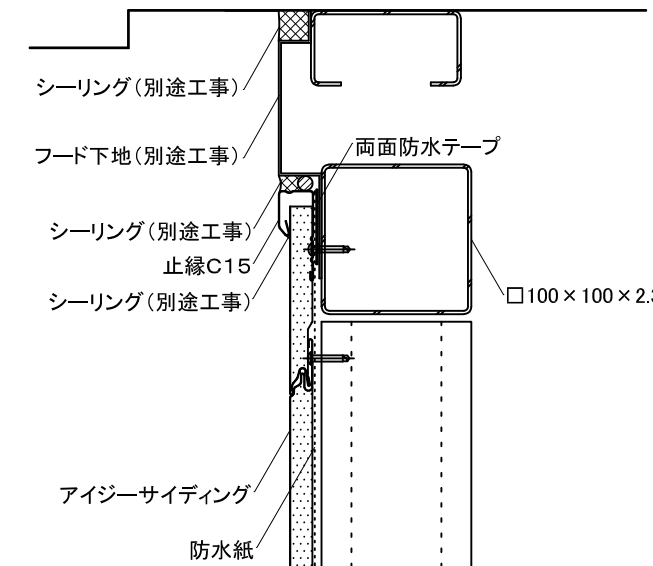
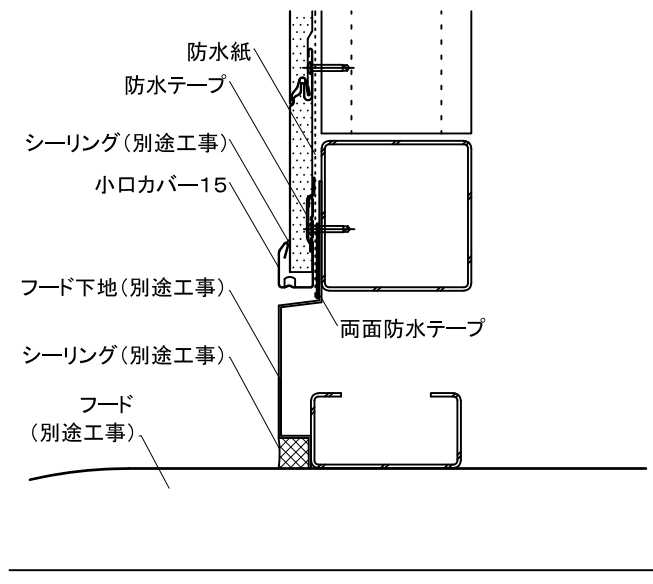
D1 フードまわり納まり
(フード下地がある場合)



D2 フードまわり納まり ー平面図
(フード下地がある場合)



D3 フードまわり納まり ー断面図
(フード下地がある場合)



品質管理のポイント

1. フードの周囲に額縁状のフード下地 (別途工事) を取付ける。
2. フード下地の脇及び下部は止縁C15をまわし、フード下地との取り合いをシーリングする。
3. フード下地の上部は止縁C15で納め、止縁C15とフード下地との取り合いは、わき部付近のみシーリングする。

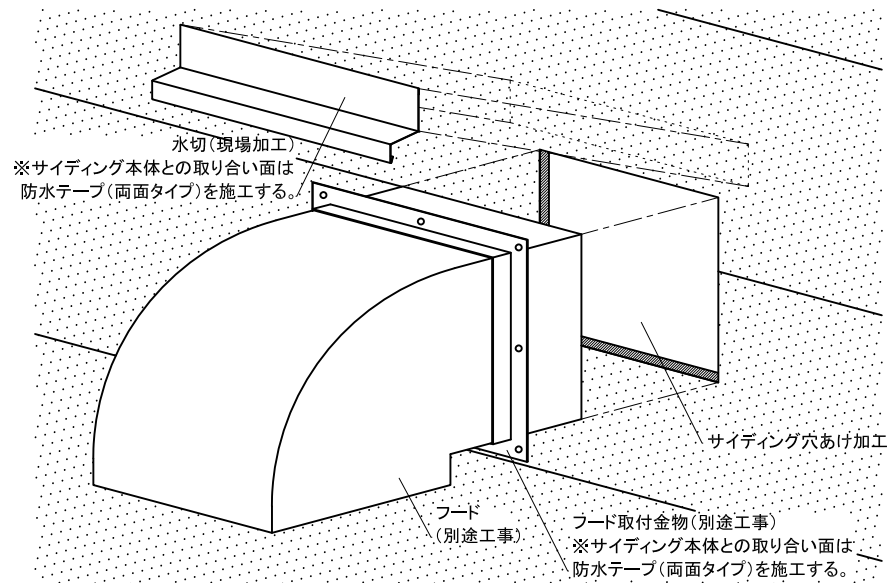
注) フードサイズが大きい (600mm程度) 場合は、フード上部、下部の両端部分でサイディング本体を脳天留めし、ビス頭にシーリングを施してください。

フードまわり 1

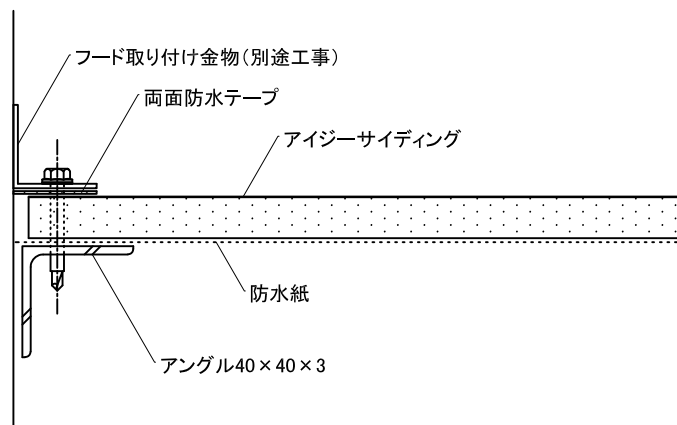
アイジー工業株式会社

■フードまわり 2

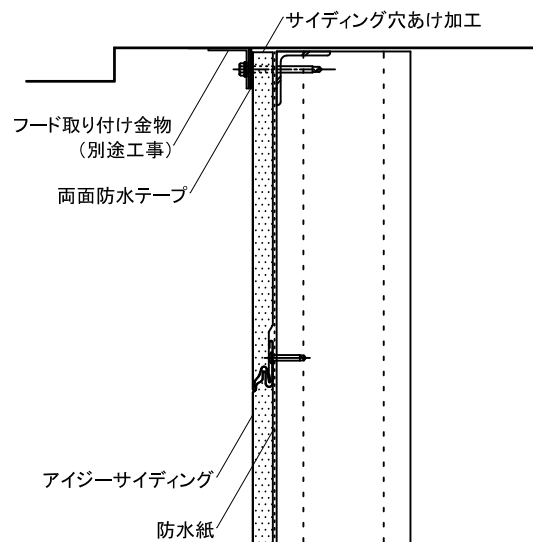
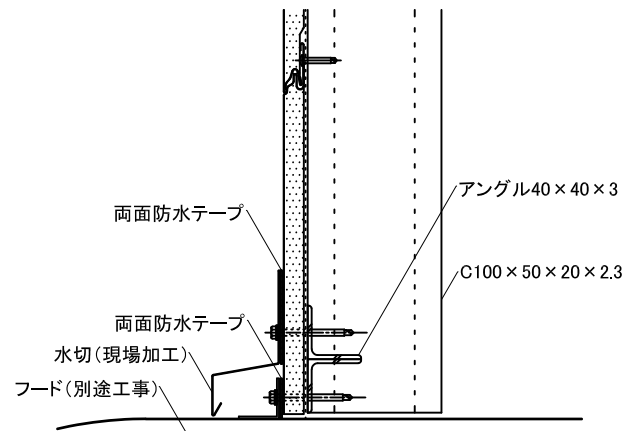
D1 フードまわり納まり
(フード下地がない場合)



D2 フードまわり納まり ー平面図
(フード下地がない場合)



D3 フードまわり納まり ー断面図
(フード下地がない場合)



品質管理のポイント

1. フードの形状に合せサイディング本体を穴あけ加工する。
2. フード取付金物とサイディング本体との取り合いは防水テープ(両面タイプ)を施工する。
3. フードの上に水切(現場加工)を取り付ける。水切とサイディング本体表面との取り合いは防水テープ(両面タイプ)を施工する。

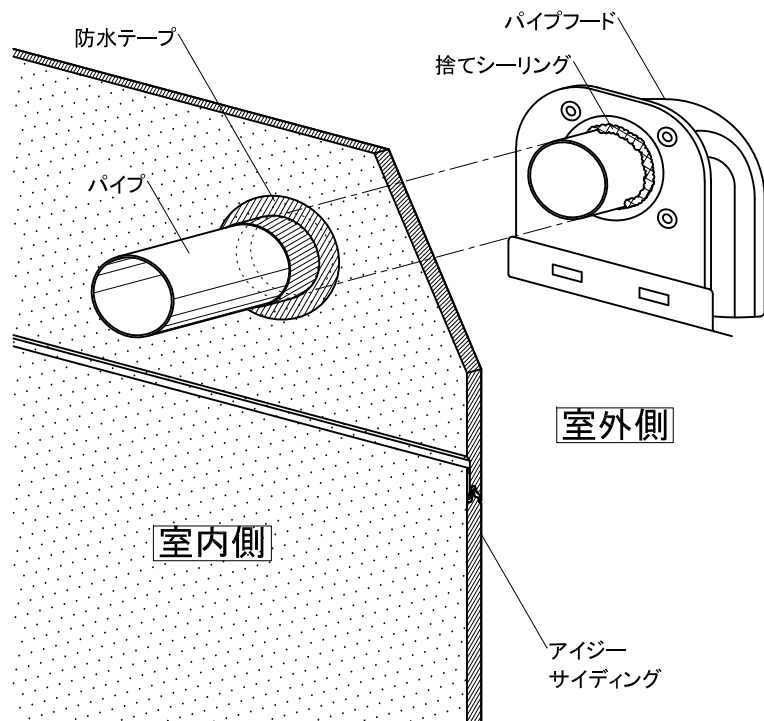
※フードの重量は下地で受けること。

フードまわり 2

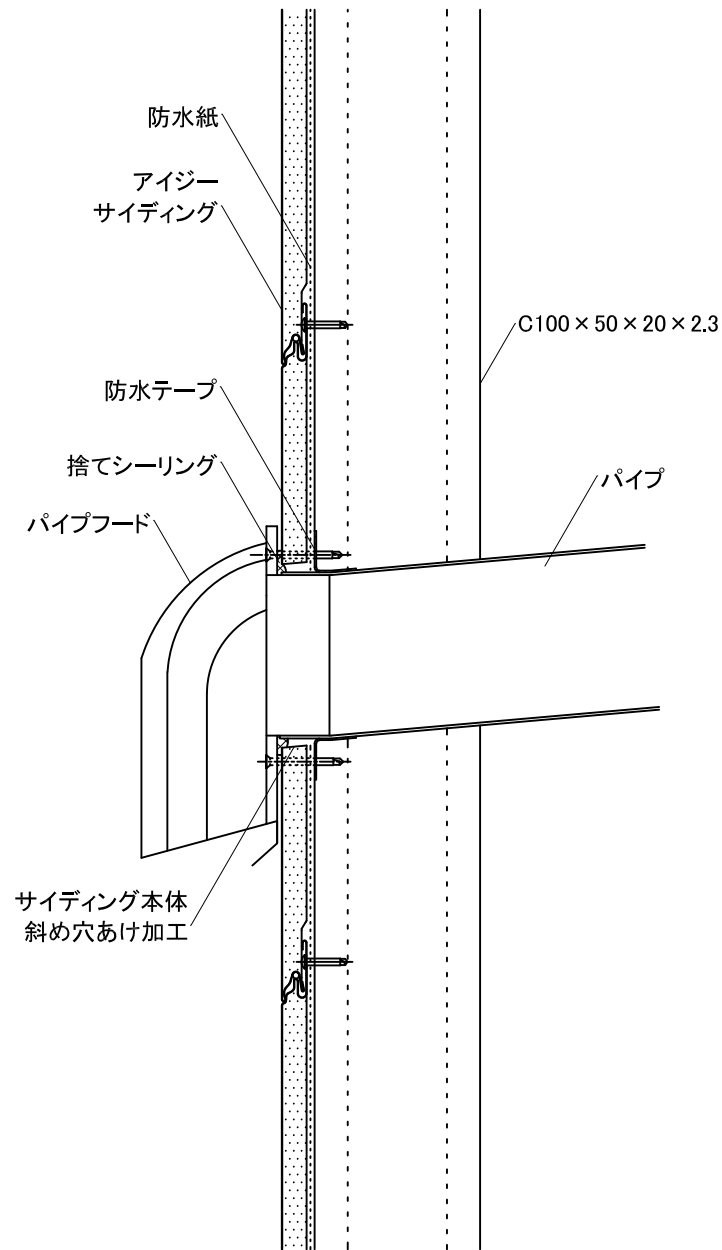
アイジー工業株式会社

■パイプフードまわり

① パイプフードまわり納まり



② パイプフードまわり納まり 一断面図



品質管理のポイント

1. サイディング本体にホールソー等でパイプの径に合わせて穴あけ加工を施す。
2. パイプとサイディング本体裏面との取り合いの部分に防水テープ(片面タイプ)を貼り防水する。
3. 万一水が入った場合を考慮して、サイディング本体への穴あけの際に若干勾配をつけて斜めに加工する。
4. パイプフードをかぶせる際に、サイディング本体との取り合い部に捨てシーリングする。

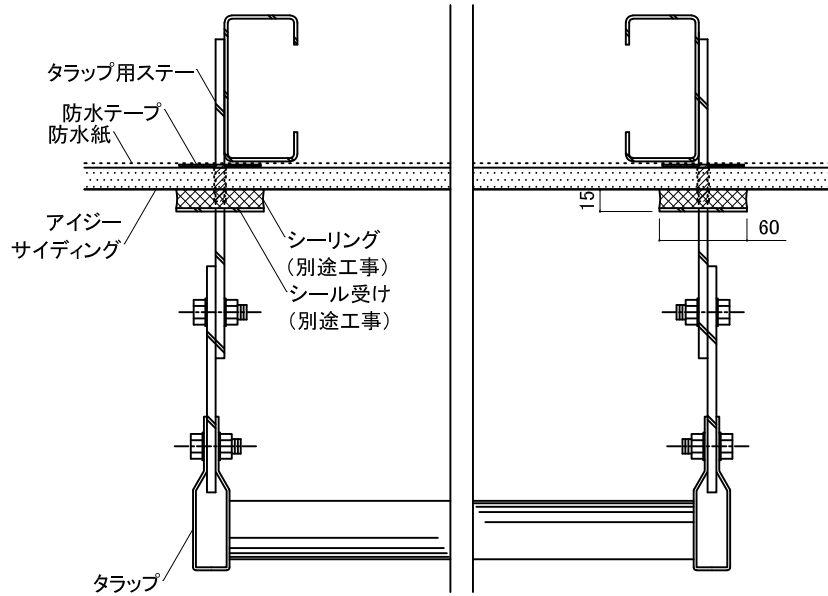
パイプフードまわり

アイジー工業株式会社

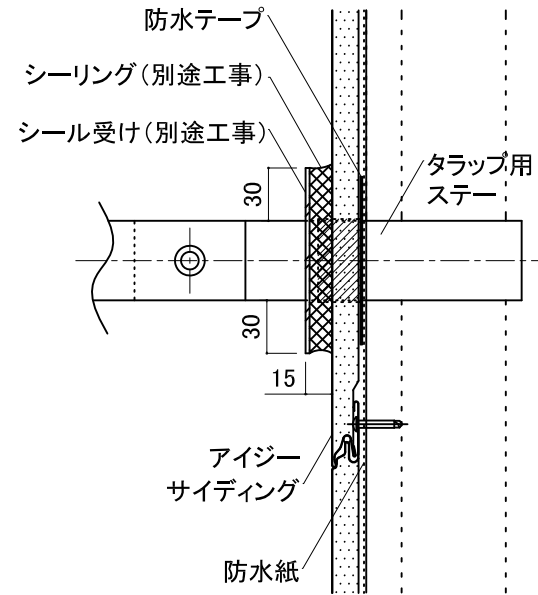
■タラップ取り合い部

品質管理のポイント

D1 タラップ取り合い部納まり ー平面図

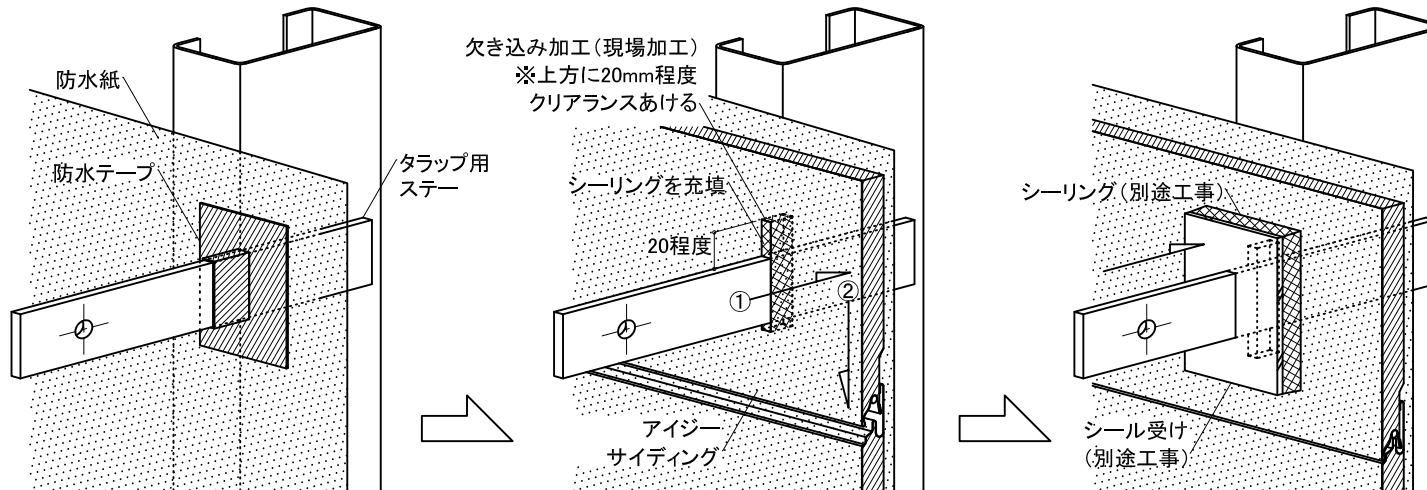


D2 タラップ取り合い部納まり ー断面図



1. 防水紙とタラップ用のステーを防水テープで貼り付ける。
2. サイディング本体にタラップ用ステーを貫通する貫通口をあける。
貫通口は、サイディング本体を落とし込む（かん合させる）時のクリアランスとして上側に20mm程度余分にあける。
3. サイディング本体を施工後、貫通口にシーリングを充填する。
4. シーリング受けプレートを金物工事にて取付ける。
5. サイディング本体とシーリング受けプレートの間をシーリング仕上げする。

D3 施工手順

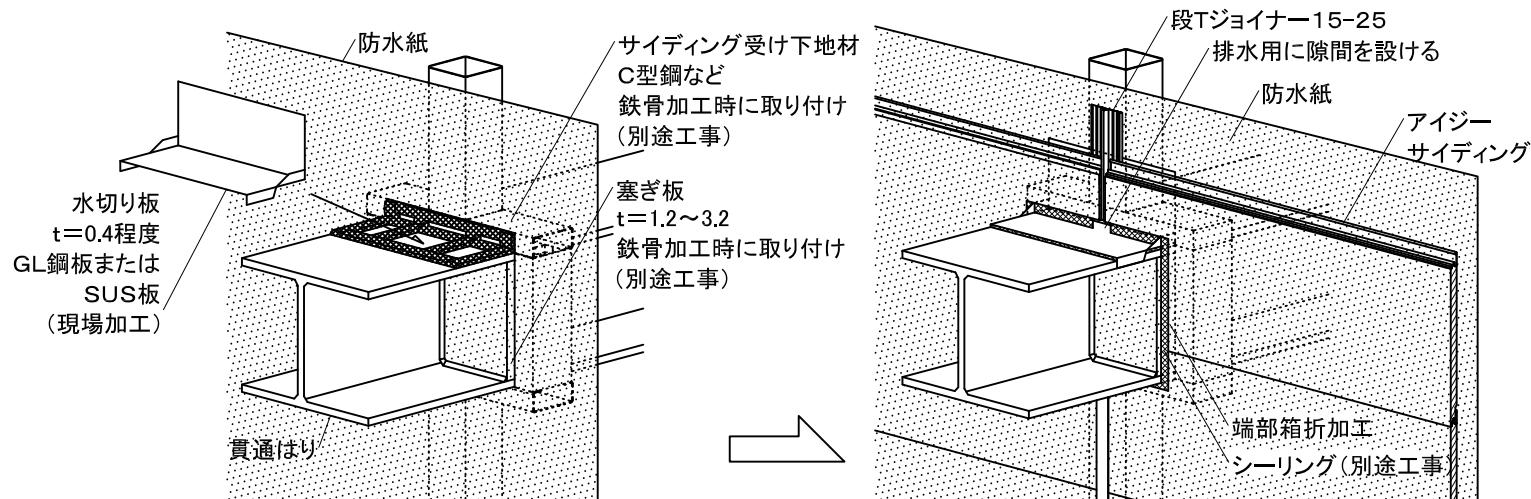


タラップ取り合い部

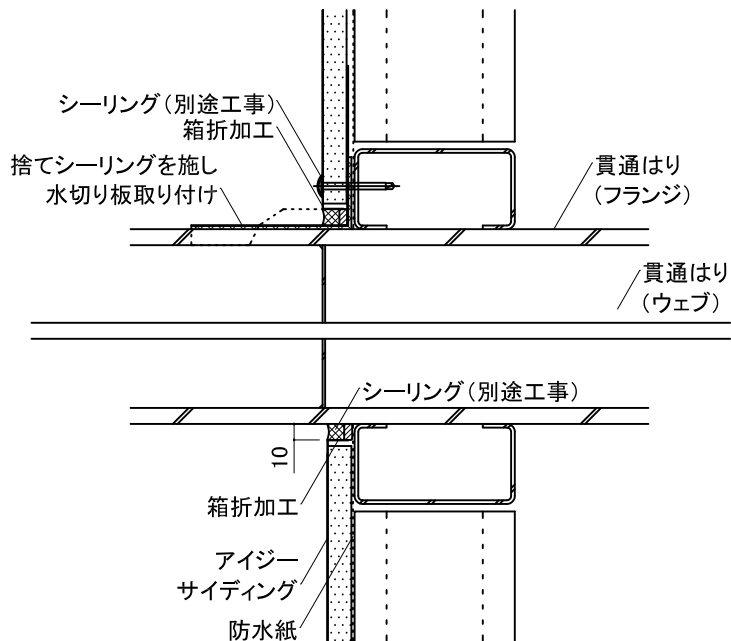
アイジー工業株式会社

■ はり貫通部

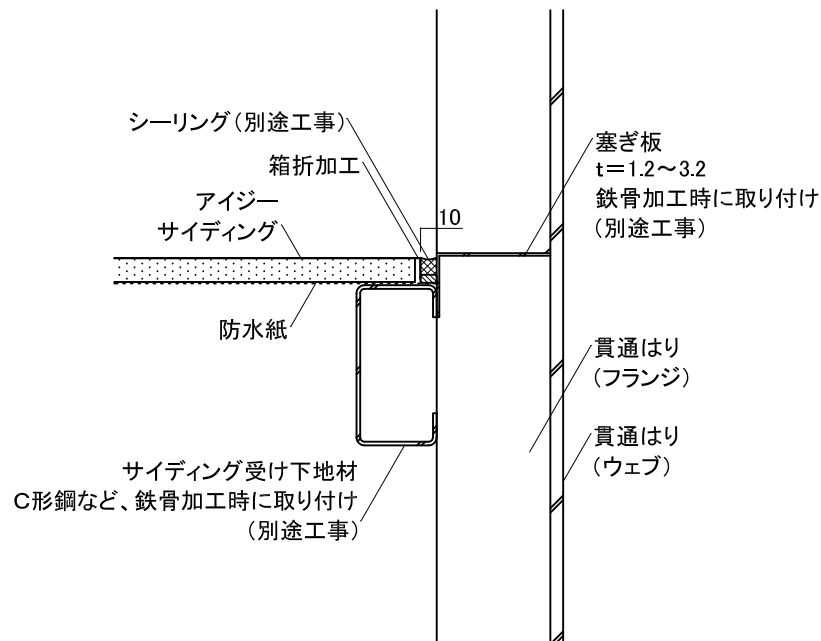
④ 施工手順



④ はり貫通部 一断面図



④ はり貫通部 一平面図



品質管理のポイント

1. はりのフランジとウェブ面をふさぐ塞ぎ板を鉄骨加工段階で取付ける。
2. 塞ぎ板周辺のフランジ面にはサイディング受けとなる下地材を鉄骨加工段階で取付ける。
3. サイディング本体を施工する前に、水切り板を現場加工し取り付け。その際、取り付け部に捨てシーリングを施す。
4. 段Tジョイナー15-25は水切の上に重ねて施工する。
5. サイディング本体は、はりの外形に合わせて切り欠き、端部を箱折加工する。
6. はりとサイディング本体の間をシーリング仕上げする。

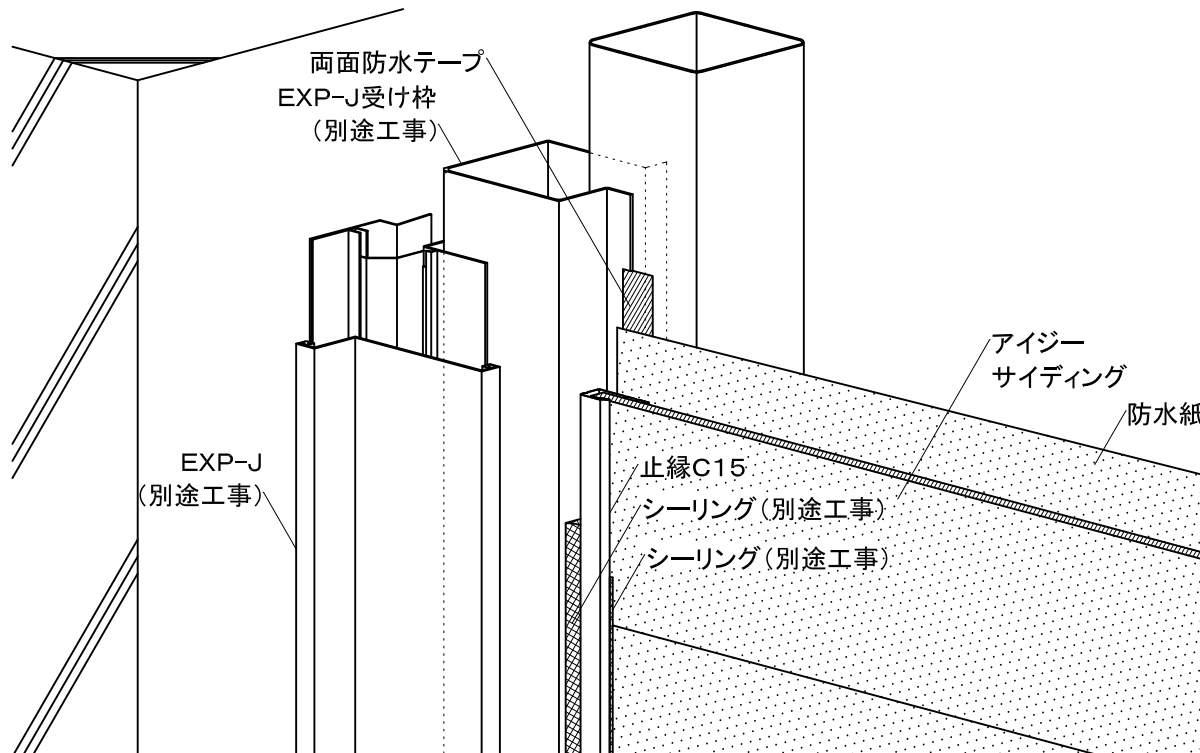
はり貫通部

アイジー工業株式会社

■EXP-J部

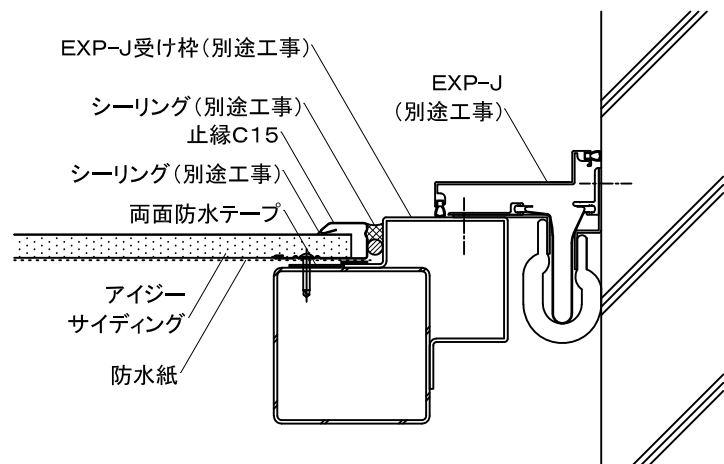
品質管理のポイント

① EXP-J部納まり

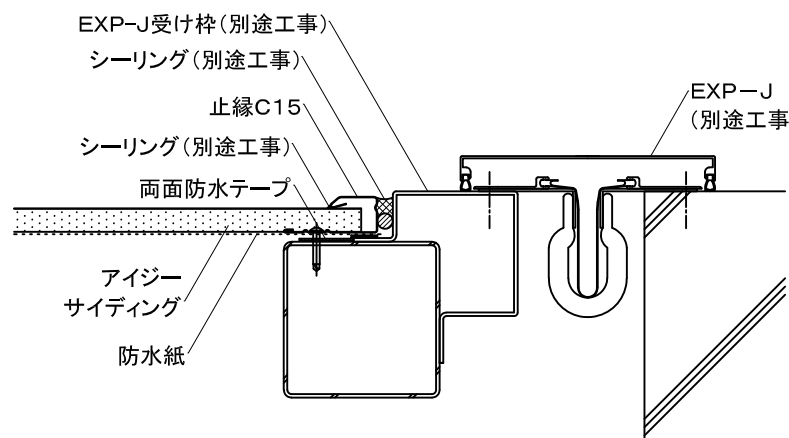


1. EXP-Jはサイディング本体では受けない。別途、受け枠材を金物工事で取付け、これにEXP-Jを取り付ける。
2. サイディング本体とEXP-J受け枠材の間はシーリング仕上げする。

② 入隅部分納まり ー平面図



③ 一般部納まり ー平面図



EXP-J部

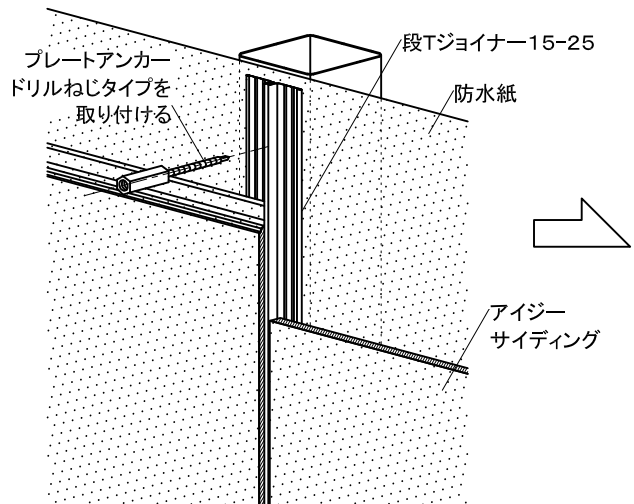
アイジー工業株式会社

■壁つなぎの例

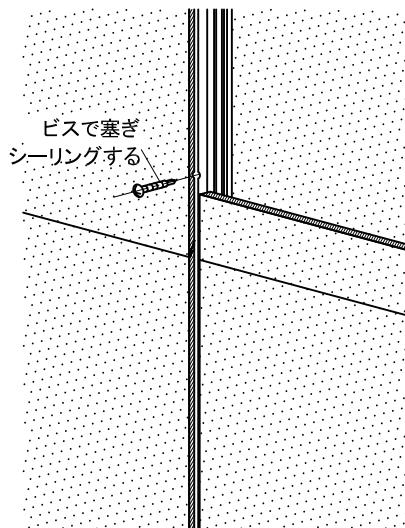
品質管理のポイント

D 壁つなぎ 【例1】 下地が角パイプのとき

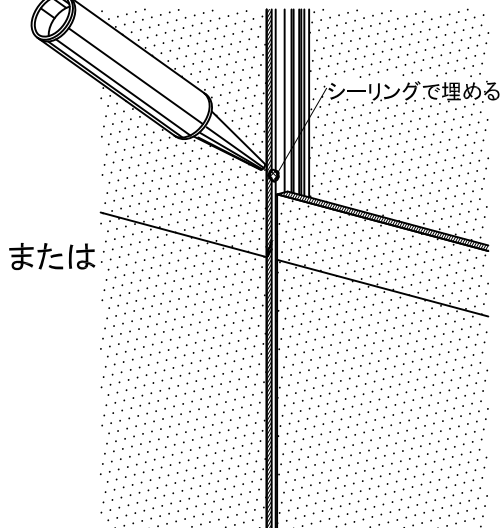
プレートアンカーを抜いた穴の処理方法



例1

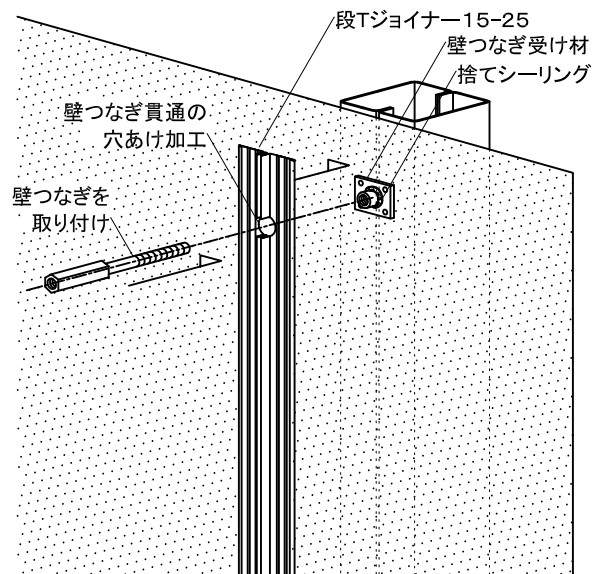


例2

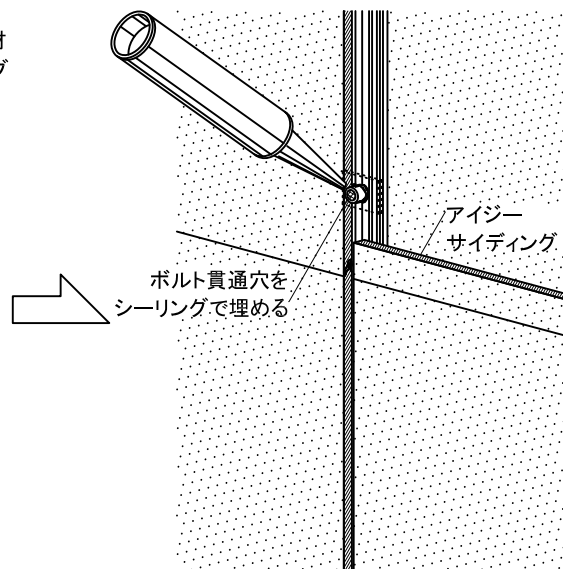


または

D 壁つなぎ 【例2】 下地が2Cのとき



ボルト貫通穴の処理方法



D キャップ材の加工



【例1】の場合

ドリルねじタイプのプレートアンカーを用いる方法。
下地が角パイプのときに適する。

1. 足場解体時にプレートアンカーを抜いた穴は、テクスビスで塞ぎシーリングするか、シーリングで穴を塞ぐ。

【例2】の場合

予め壁つなぎの受け材を取付けておく方法。
下地が2Cのときに適する。

1. 後工程となる段Tジョイナー15-25には壁つなぎ貫通のための穴をあける。

2. 足場解体に段Tジョイナー15-25の穴をシーリングで埋める。

キャップ材の加工

キャップ材の壁つなぎ受け材に当たる部分は、キャップの差込み部分をカットする。

(【例1】でビス頭が邪魔になる場合も同様)

壁つなぎの例

アイジー工業株式会社